



第230号 令和5年(2023年)8月20日

# 市議会だより

## ■主な内容

6月定例議会の概要 .....	2
各委員会での主な議案審査状況 .....	2
議決一覧 .....	7
代表質問 .....	8
一般質問 .....	10
常任委員会所管事務調査事項 .....	13



## おいしい給食大好き！

とてもうれしそうに満面の笑みで給食を食べる子どもたち。  
6月定例議会では、物価高騰の影響を受ける私立保育所などの給食食材費の一部を給付する補正予算を可決しました。

市議会の詳しい情報は鈴鹿市議会のホームページをご覧ください

鈴鹿市議会

検索

<https://www.city.suzuka.lg.jp/gikai/>



# 6月定例議会の概要

## 令和5年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)など34議案を可決

6月定例議会を、6月5日から6月29日までの25日間の期間で開催しました。

まず、初日の6月5日には、市長から施政方針が述べられました。続いて、「令和5年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)」など13件の議案が市長から提出され、提案説明が行われました。

13日には、市長の施政方針に対し、5会派から代表質問を行いました。

14日には、提出議案に対する質疑を行い、14日、15日、16日、19日には、15名の議員が一般質問を行いました。

19日には、議案13件を各委員会に付託しました。また、「工事請負契約の締結について」の議案が市長から追加提出され、提案説明の後、質疑を行い、提出議案を文教環境委員会に付託しました。

19日、21日、22日、27日には、各委員会で付託議案の審査などを行いました。

最終日の29日には、各委員長から付託議案について審査結果の報告があり、3名の議員が討論を行った後、採決の結果、議案14件はいずれも可決しました。続いて、「鈴鹿市監査委員の選任同意について」など20件の議案が市長から追加提出され、提案説明の後、採決の結果、いずれも同意することに決定しました。

最後に、8月27日までを休会とすることを決定し、散会しました。



## 各委員会での主な議案審査状況

### 文教環境委員会

議案第42号 工事請負契約の締結について



6月21日

### 白子中学校の長寿命化改修工事を実施

**【概要】** 白子中学校校舎長寿命化改修外建築工事(西館校舎棟)について、工事請負契約を締結しようとするもの。

**【質疑】** 長寿命化改修工事に伴う、周辺地域への騒音対策はどのように行うのか。

**【答弁】** 工事の実施に当たっては、工事を開始する前に、周辺地域の住民にポスティングなどにより連絡を行う。また、工事中は、囲いをするなどして騒音対策を実施していく予定である。



鈴鹿市立白子中学校

# 予算決算委員会

予算の審査は、総務・文教環境・地域福祉・産業建設の各分科会に分かれ、詳細な審査を行いました。その後、予算決算委員会の全体会においては、各分科会から審査の経過と結果の報告を受け、審査を行いました。

## 総務分科会



6月22日

議案第29号 令和5年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)

### 防犯カメラの設置で犯罪を防止

○防犯カメラ設置事業費 82万2,000円

**【概要】** 過去に犯罪などの認知事案があった駐車台数が多い公園に計4台の防犯カメラを設置するもの。

**質疑** 防犯カメラは、いくつの公園に計何台設置する予定か。

**答弁** 防犯カメラは、2つの公園に計4台を設置する予定である。

**質疑** 防犯カメラを設置する箇所はどこか。

**答弁** 現在設置を予定している2つの公園では、原則的に、公園の出入口を撮影する。また、公園によって、車上荒らしが発生した公園であれば駐車場を撮影し、声掛け事案が発生した公園であれば子どもが遊ぶ広場などを撮影する。

**質疑** 映り込みなどのプライバシーの問題をどう考えているのか。

**答弁** 「防犯カメラ撮影中」などの注意喚起の看板を設置する。

**質疑** 今後3年間で5つの公園に計13台の防犯カメラを設置していくとのことであるが、設置する5つの公園を選んだ理由は何か。

**答弁** 防犯カメラの設置対象となり得る18公園のうち、駐車台数が多い、車上荒らしや声掛け事案などの犯罪認知がある、小中学校の通学路に隣接しているなどの条件を基に、鈴鹿警察署との協議の結果、5つの公園を選定した。

**質疑** 防犯カメラの設置対象となり得る18公園のうち、今年度に防犯カメラを設置する2公園を除いた16公園について、今後の年次計画や整備計画はあるのか。

**答弁** 現時点において18公園全てに防犯カメラを設置する計画はない。公園での犯罪事例や駐車台数などを考慮し、今後3年間で5つの公園に計13台の防犯カメラを設置する予定である。



防犯カメラ



## 「ほっとルーム」の設置で不登校児童の支援を充実

### ○不登校対策推進事業費 358万2,000円

**【概要】** 校内適応教室「ほっとルーム」を新たに7校に設置するもの。

**質疑** 令和4年度には、3校に校内適応教室「ほっとルーム」を設置したが、どのような効果があったのか。

**答弁** 令和4年度に、桜島小学校、河曲小学校、牧田小学校の3校に、校内適応教室「ほっとルーム」を設置した効果としては、10月からほっとルームの職員が従事したことにより、10月もしくは11月からの不登校児童の人数が3月まで増えなかったという効果があった。

また、それぞれの学校にほっとルームを設置した効果を確認したところ、全く学校に来ることができなかった児童が、ほっとルームがあることにより学校に来られるようになったというのが一番の効果ではないかという意見があった。

さらに、不登校傾向でなかなか学校に来ることができなかった児童が、1～2時間ほっとルームで過ごして心を落ち着かせてから、教室に入ることができるようになったという効果もあった。

**質疑** 新たに設置する校内適応教室「ほっとルーム」に、パートタイム会計年度任用職員が週6時間従事するということであるが、週6時間で足りるのか。また、パートタイム会計年度任用職員の不在時にはどのように対応するのか。

**答弁** 校内適応教室「ほっとルーム」を利用する児童は、なかなか学校に来ることができない児童であり、1日当たり1時間から2時間程度学校に来るという想定で、週6時間と設定している。学校現場としては、ほっとルームに先生が常駐することが望ましいが、先生が常駐しているからといって、ほっとルームを利用する児童が、1時間目から6時間目まで来られるということではないため、必要最低限の時間として週6時間と考えている。

また、ほっとルームにパートタイム会計年度任用職員がいない時間帯には、授業がない先生や管理職の先生に入ってもらっている。

**質疑** 校内適応教室「ほっとルーム」に従事するパートタイム会計年度任用職員は、どのような資格を持っているのか。

**答弁** 校内適応教室「ほっとルーム」に従事するパートタイム会計年度任用職員は、教員免許を取得している。



校内適応教室「ほっとルーム」



6月22日  
(午前)



6月22日  
(午後)

議案第29号 令和5年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)

## 送迎用バスに置き去り防止ブザーを設置

○私立保育所等保育環境改善等事業費補助 253万9,000円

**【概要】** 園児・児童の送迎用バスを保有する私立保育施設などに対して、園児・児童の車内置き去り防止のための安全装置設置費用の一部を補助するもの。

**【質疑】** 送迎用バスに置き去り防止ブザーを設置するということであるが、どのようなブザーを設置するのか。

**【答弁】** 補助対象となる安全装置は、国土交通省が策定した「送迎用バスの置き去り防止を支援する安全装置のガイドライン」に適合するものとし、①運転手が子どもを降ろした後にブザーが鳴り、バスの一番後ろまで行ってブザーを停止させるというもの、②自動検知式のセンサーで、バスの中で人が動くとブザーが鳴るといもの、③それら2つの複合型の3種類がある。なお、ガイドラインでは、以上の3種類のうち、各施設が行う安全管理対策に応じて自由に選択できることとなっているため、市が特定の装置を指定する予定はない。



置き去り防止ブザー

## 带状疱疹ワクチンの接種費用を助成

○予防接種費／带状疱疹ワクチン接種費 645万6,000円

**【概要】** 任意接種に区分される带状疱疹ワクチンの接種費用の一部を助成するもの。

**【質疑】** 不活化ワクチンと生ワクチンのそれぞれの接種費用はいくらか。また、対象見込み人数734人に対して、不活化ワクチンが220人分しか計上されていない理由は何か。

**【答弁】** 不活化ワクチンの接種費用は、1回当たり2万円から2万5,000円、2回接種となるため4万円から5万円の範囲となる。生ワクチンの接種費用は、1回接種で7,000円から1万円の範囲となる。

また、予算計上した対象者数については、先行して実施している名古屋市の接種率を参考に、本市の人口を乗じて算出するとともに、接種開始が7月下旬からということも考慮して想定している。なお、ワクチンの接種率については、先行して実施している自治体を参考に、不活化ワクチンを3割、生ワクチンを7割で計算している。



出典：グラクソ・スミスクライン株式会社  
「带状疱疹予防.jp」より



## デマンド型交通の導入に向けた取り組み

### ○新交通システム運行事業費 1,235万6,000円

**【概要】** 地域の実態や移動ニーズを把握するための調査を行い、デマンド型交通の導入により課題解消につながる地域の検証および運行体制の検討など、令和6年度中に予定しているデマンド型交通の実証運行に向け、必要な経費を計上するもの。

**質疑** 対象地域の選定はどのように行うのか。

**答弁** 地域の移動実態や移動ニーズを把握するための調査の結果を踏まえた上で、デマンド型交通の実証運行に向けて導入する地域の公募を行い、選定していく。

## プレミアム付デジタル商品券を発行

### ○プレミアム付デジタル商品券発行事業費 2億8,000万円

**【概要】** 原油価格・物価高騰の市内経済への影響が懸念される中、市内の消費喚起および市民の経済負担の軽減を図るため、プレミアム付デジタル商品券を発行するもの。

**質疑** 業務委託の内容はどのようなものか。

**答弁** 業務委託費の内訳は、クレジットカード・コンビニの決済手数料、市民向けのコールセンター・相談窓口の設置費用、参加店に対する説明会の開催費用、周知用のチラシ・ポスターの作成費用を予定している。

**質疑** コールセンターなどの委託先はどのように選定するのか。

**答弁** プロポーザル方式を活用し、業者の選定を行う予定である。

**質疑** スマートフォンを持たない市民への対応について、検討を行ったのか。

**答弁** スマートフォンを持っていないため、プレミアム付デジタル商品券を購入できない市民への対応は検討したが、今回の事業の目的が、物価高騰を受けての市民の経済負担の軽減、市内消費の喚起、経済の活性化に加え、キャッシュレス化の促進であるため、デジタル方式による商品券の発行とした。

【プレミアム率】 30%

【購入上限額】 1人につき1万円(額面1万3,000円)

【購入対象者】 鈴鹿市民限定 5万2,000人(想定)

【発行総額】 6億7,600万円

【使用期間】 令和5年10月から令和6年1月までを予定

プレミアム付デジタル商品券の内容

## 討論一覧（6月定例議会）

討論は、議案に対する賛否の態度、考え方を明らかにするものです。採決で賛否が分かれた場合のみ内容を掲載し、全会一致の場合は一覧を掲載します。

### <議案第29号～議案第42号について>

氏名	賛成・反対の別	議案番号	
宮木 健 議員 (自由民主党鈴鹿市議団)	賛 成	議案第29号～議案第42号	
中西 大輔 議員 (市民の声)	賛 成	議案第29号～議案第42号	
高橋 さつき 議員 (諸派(日本共産党))	賛 成	議案第29号～議案第42号	

## 議決一覧（6月定例議会）

6月定例議会に上程された議案は、全て全会一致で可決または同意しました。

議案第29号	令和5年度鈴鹿市一般会計補正予算(第3号)
議案第30号	鈴鹿市印鑑条例の一部改正について
議案第31号	鈴鹿市職員給与条例の一部改正について
議案第32号	鈴鹿市税条例の一部改正について
議案第33号	鈴鹿市民会館条例の一部改正について
議案第34号	鈴鹿市文化会館条例の一部改正について
議案第35号	鈴鹿市火災予防条例の一部改正について
議案第36号	鈴鹿市防犯カメラの設置及び運用に関する条例の一部改正について
議案第37号	工事請負契約の締結について
議案第38号	工事請負契約の変更について
議案第39号	財産の取得について
議案第40号	財産の取得について
議案第41号	財産の取得について
議案第42号	工事請負契約の締結について
議案第43号	鈴鹿市監査委員の選任同意について
議案第44号～議案第62号	鈴鹿市農業委員会委員の任命同意について



起立採決の様子

## 会派等構成員一覧

新緑風会	◎山口 善之	大杉 吉包	河尻 浩一	曾我 正彦	加藤 公友	松葉谷光由
自由民主党 鈴鹿市議団	◎宮木 健	野間 芳実	森 喜代造	森 雅之	太田 龍三	桐生 常朗
市民の声	◎中西 大輔	薮田 啓介	市川 昇	田中 淳一	藤井 栄治	
れいめい	◎南条 雄士	市川 哲夫	水谷 進	田中 通		
公明党	◎池上 茂樹	藤浪 清司	船間 涼子			
諸派 (日本共産党)	◎石田 秀三	高橋さつき				
無所属	矢田真佐美					
無所属	山中 智博(議長)					

◎：会派等代表者

採決時の会派等構成員一覧です。

## 代表質問(要旨)

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

会派を代表した議員が、市長の施政方針に対して行う質問を代表質問といいます。令和5年6月定例議会では、市長から令和5年度の施政方針が述べられ、その内容について5会派から代表質問を行いました。

### 新緑風会 山口 善之 議員

#### 令和5年度施政方針について

(質問) 地域公共交通について、デマンド型交通の導入を進めていく中で、利便性のある仕組みの構築が必要である。その中でも、交通空白地域と、高齢者や障がいのある方の移動には特に利便性が必要であり、市内全域の課題である。そのため、関係部署間での横断的な協議をお願いしたい。以前に一般質問した「チョイソコ」

については、各地で採用され、県下においても明和町が導入し、さらに民間の仕組みも取り入れて、市民のニーズに込えている。市として今後どのようなデマンド型交通を構築していくのかを問う。

(答弁) 本事業のデマンド型交通は、乗合タクシーを想定している。乗合タクシーの運行形態は、予約があったときのみ運行する方式を基本とし、地域の移動実態やニーズに合わせて、運行方式、運行ダイヤ、発着地などを検討していく。



## 令和5年度 施政方針について

(質問) 子どもたちの教育環境の新たな創造のための具体的な政策、今後老朽化していく学校の建て替え・改修など、教育環境の整備について問う。また、公立保育所・幼稚園の在り方について、今後の方向性について問う。

(答弁) 子どもたちが、楽しく安心して学ぶことができる学校づくりを目指し、新たな教育の創

造のための政策を進めていく。学校設備の整備については、児童生徒数の減少や社会的ニーズの変化といった教育環境の課題も踏まえ、適切な改築や改修などを計画的に実施していく。また、「鈴鹿市立保育所・幼稚園施設整備に関する基本方針」を踏まえ、施設利用者数の変化などを見据えて、施設整備を進める。今後については、幼児教育・保育を取り巻くニーズを精査し、行政として必要とされるサービスを幅広く検討し、安心して子育てができる環境づくりに取り組んでいく。



## 市長の社会環境と自然環境に対する展望について ほか

(質問) ①今後の鈴鹿について、どのような将来都市像やビジョンを持っているのか。②高等教育卒業の女性に鈴鹿で住み続けてもらう視点で、女性の就労をどのように考えるのか。③自治体経営に関する若い世代の参画についての考えは。④経常収支比率の改善、経常的な支出の削減に対する市長の考えは。

(答弁) ①人口20万人都市としてさらなる発展を目指す。10年後の姿は、誰もが健やかに自分らしく暮らし続けられる、持続可能なまちが創造されている。②官民一体で女性を含めた地元雇用に取り組んでいく。③次世代を担う若者が積極的に参画できる風土を根付かせることが重要である。④経常収支比率は近年90%前後で推移していることから、上振れしないよう留意し財政の柔軟性向上を目指す。行政評価を基に事業の廃止や縮小などを協議し、計画的に取り組んでいく。



## 令和5年度施政方針を質す

(質問) 国家や地方自治体の本来的役割は、住民の生命・身体・財産の安全を守ることである。公園などへの防犯カメラの設置や、交差点への車両用防護柵の設置など、市民の命を守る施策を最優先して最大限の予算を投入するという、自治体としての本来的責務を果たす正しい認識を、首長としてお持ちか。

(答弁) 鈴鹿警察署との協議の結果、駐車台数が多い、犯罪認知がある、小中学校の通学路に隣接するなどの条件から、市が管理する5つの公園を選定し、犯罪抑止に最も有効と考えられる出入口付近を基本に、3年間で計13台の防犯カメラを設置したい。交通安全施設は、地域からの要望を基に必要性や緊急性を考慮し、優先すべき物から順に対応する。防犯カメラや交通安全施設は、市民の大切な命と財産、暮らしを守る有効な手段の一つであり、今後も適正な設置に努める。



## 施政方針について

(質問) ①浸水被害軽減への取り組みについて、②消防・救急体制について、北部地域の一部で現着時間が遅れるが、その対応について、③不妊治療費助成の拡充について聞く。

(答弁) ①雨水対策施設の整備は、重点地区である金沢雨水幹線の改修および準用河川である北長太川・稻生新川の改修事業を引き続き実施する。

②消防力適正配置調査報告書の内容を踏まえ、北部地域の消防・救急体制の強化に向け取り組む。③不妊治療が保険適用となり、治療の経済的負担が小さくなったが、妻の年齢制限や治療回数の制限が設けられ、また、一部の先進的な治療が保険適用外となり、自己負担額が増えるケースもある。本市では県独自の特定不妊治療費助成事業を活用し、特定不妊治療における先進医療の治療費に対する助成と、保険適用の回数制限を超過した治療に対し治療回数を追加する助成を行う。



## 一般質問（要旨）

市議会ホームページにて一般質問の録画配信と会議録を公開しています。詳細は16ページをご覧ください。

公明党

藤浪 清司 議員

### 新たな地域公共交通について

（質問）新たな移動手段として、デマンド型交通を軸に交通空白地域での導入を検討することだが、①想定している導入地域、②具体的な取り組み・スケジュールについて尋ねる。

（答弁）①主に公共交通空白地域、または地形の高低差や高齢化が進み移動に困っている地域を想定。②令和5年度に地域の調査、望ましい移動手段、運行エリアや運賃などを検討し、地域を選定していく。令和6年度に事業者選定、国への事業申請、実証運行の開始を予定。

その他の質問 ○子どもの権利と健康を守る取り組み



自由民主党  
鈴鹿市議団

森 雅之 議員

### 小中学校 体育館空調について

（質問）体育館空調の実証実験について伺う。

（答弁）モデル校となるのは、自主避難所となる白子小学校および長太小学校と、学区の人口が一番多く、たくさんの避難者が想定される玉垣小学校の3校で、6月末に設置される予定である。2年間のリース契約期間中に、エアコンを設置した3校それぞれの使用時の冷暖房の効果、利便性、光熱費、使用温度、球技を行った場合の適性などについて、モニタリング調査を実施する。

その他の質問 ○公共交通政策 ○企業誘致 ○道の駅



無所属

矢田 真佐美 議員

### ごみ処理及び認定ごみ袋について

（質問）分別ごみ回収後のリサイクル資源の現況を問う。また、市認定ごみ袋の購入が物価高騰で家計に痛い。単身や高齢者世帯など時代の変化に即した規格の見直しを検討されたい。

（答弁）分別収集されたごみは、それぞれの再資源化事業者へ引き渡しリサイクルしている。リサイクル推進により、ごみ処理・埋め立て量は減少傾向にあり、施設の延命化が図れている。また、認定ごみ袋の規格はL・M・Sの3種類。一般に流通しているサイズであり、収集業務の支障を懸念し、現在のところ規格の見直しは考えていない。



市民の声

市川 昇 議員

### 鈴鹿市史再編纂について

（質問）鈴鹿市史の初版が発刊されてから約43年、最終版が発刊されてから約34年と長期間が経過したが、①鈴鹿市史の内容および現状について、②鈴鹿市史再編纂への取り組みについてお聞きしたい。

（答弁）①長期間が経過する中で、新たな歴史的発見がたくさんあり、その新たな事実の把握と記録を残しながら管理や整理をしていきたい。②再編纂か続編か、紙冊子か電子媒体かなど、人的、予算的な総合的な判断をしながら、市制何周年などの時期も含めた検討も必要であると考えている。



市民の声

中西 大輔 議員

### 街並みを活かす施策について

（質問）白子駅東地域において、観光庁の「地域一体となった観光地・観光産業の再生・高付加価値化事業」を活用し、空き家を活用した街並みを活かす施策を行ってはどうか。

（答弁）空き家を活用した取り組みは、用途規制にも鈴鹿市都市マスタープランにも合致している。若者対象のワークショップでも白子駅に着目した提案があった。国土交通省からも「居心地が良く歩きたくなるまちなか」などが掲げられており、白子駅東地域の取り組みについて、地域住民の盛り上がりや機運の醸成を見て検討していきたい。



市民の声

藤井 栄治 議員

### 地域公共交通の確保について

（質問）少子高齢化が進む本市において、公共交通空白地域を含む「地域づくり協議会」の区域全域で、オンデマンド型交通など新たな移動手段に取り組むべきではないか。また、C-BUSの太陽の街・平田線の収支率が最低であることから近鉄千里駅までの延長を検討すべき。

（答弁）新たな移動手段が、本市の地域公共交通ネットワークにおいて適切な役割を果たすことができるよう、鈴鹿市地域公共交通会議において協議を進めていく。路線延長などについては南部地域C-BUS運行計画の再検討が必要となる。



### 鈴鹿市の海岸堤防整備について

**(質問)** 本市の海岸堤防は、三重県管理部分が約12キロメートル、市の管理部分が約3キロメートルである。本市が管理する3キロメートルの海岸堤防の現状を問う。

**(答弁)** 本市は白子・若松・鈴鹿の3漁港を管理している。令和2年度から耐震性能調査に着手し、漁港の土質調査、地震の耐力判定、想定される高潮や津波の高さと堤防の高さの関係などを調査している。照査結果を基に、対策工事の必要性や緊急性などを踏まえ、隣接海岸堤防との整合性を考慮しつつ、残りの断面の照査と改修工事を検討する。



### 8050問題について

**(質問)** 8050問題は、長年ひきこもりの中高年家族（子ども）を高齢者の親が支えるという社会問題であり、今までの属性別福祉制度では対応できないと考えるが、重層的な「いきやすさ相談窓口」などの設置はどうか。

**(答弁)** 8050問題は、社会的に孤立状態になる事が多いので、既存の福祉制度では対応が難しく、多様な視点からの対応が必要である。また、障害者手帳を持たない方への対応については、大変重要な課題であると考えており、相談窓口の拡充など支援体制の充実に取り組んでいく。



### 防犯対策について

**(質問)** 防犯カメラは犯罪を抑止する、解決する、体感治安を良くする手法として大変有効な取り組みである。しかし、自治会などの団体による防犯カメラ設置数は伸びていないため、設置促進に係る行政としての取り組みを問う。

**(答弁)** 防犯カメラの設置は、地域の防犯力の向上に重要な役割を果たすことから、防犯活動を行う自治会などの団体が設置する防犯カメラについては、これまでと同様に設置費の補助や管理体制への助言など、行政としても積極的に支援していきたい。

**その他の質問** ○豪雨による被害対策



### 国民健康保険の保険料について

**(質問)** 本市の国民健康保険事業特別会計は、2016年度の保険料引き上げ以降、毎年黒字で、支払準備基金への積み立てにより、基金残高が17億円にも達している。この基金の活用により保険料の引き下げ、特に子どもにかかる均等割保険料をなくすことを求める。

**(答弁)** 国保財政の収支バランスや、被保険者に対する給付と負担のバランスを見ながら、基金の処分や保険料の引下げを慎重に検討する。また、子どもの均等割保険料の軽減割合などの拡充について国に要望を続ける。

**その他の質問** ○非正規職員



### 生活交通(地域公共交通)について

**(質問)** 公共交通の予算が低すぎる。桑名市並みに増額し、行政主体で行えば、デマンドバスを全市的に展開できるのではないか。地域の需要があっても地域主体では負担が重いため導入ができず、利便性の高い地域公共交通の実現は不可能と考える。しっかり対策を取らないと、市民の生活が持続不可能になる。

**(答弁)** 地域主体の移動手段確保のための手引書を作成し、関係者と連携して支援する。持続可能な地域公共交通ネットワークの構築が必要であると考えている。

**その他の質問** ○鈴鹿市の平和行政



### 学校の指導について

**(質問)** 子どもたちがお互いを尊重し合い、認め合うことによって、自分の意志で好きな制服を選択できることが重要と考える。市内の中学校のジェンダーレス制服の現状を聞く。

**(答弁)** 既に全学年が「ブレザー・スカート・ズボン」から選択できる中学校が4校、令和5年度の新入生から選択できるようになった中学校が2校ある。「学生服」と「セーラー服」の中学校は4校あるが、千代崎中学校は令和6年度の新入生から、創徳中学校は令和7年度の新入生から新制服に変更する。

**その他の質問** ○ノックス法



## 投票率の向上について

(質問) 政治への関心を高めるため、小中学校の教育現場における主権者教育の取り組みや、投票率向上への啓発に対する予算増額と外部委託について問う。

(答弁) 将来を担う小中学校の子どもたちの選挙への関心を高めるため、早い段階からの主権者教育の必要性を強く感じている。効果的な啓発事業を進めるに当たり、外部委託の導入も含め、事業の内容を調査研究し、市民の政治意識を向上させる取り組みを実施するよう努めていく。

その他の質問 OWi-Fiの利活用



## 南部地域の小規模校の在り方

(質問) 天名、合川、郡山小学校の統廃合について、学校存続派の意見をもっと真摯に受け止めるべきであると考えている。令和6年度から合川小学校で複式学級が発生することから、市としてどのように対応していくのかを問う。

(答弁) 教育的観点から、一定規模での集団教育は必要であるため、令和8年4月に天名、合川、郡山小学校を再編し「新たな学校」の開校を目指す。また、合川小学校の学校運営については、複式学級の授業方法などにおける課題対応のため、他市への視察など調査研究を行い、準備を進めている。



## Hiまわり分団への全国女性消防操法大会出場支援体制について

(質問) 表彰などが相次ぎ、活躍が注目されている鈴鹿市消防団。今年は全国女性消防操法大会にHiまわり分団が出場する。他の分団とは異なる環境にあるHiまわり分団への支援体制の現状と今後の課題について問う。

(答弁) 5月に女性消防団室がある消防本部で訓練を開始。長期間の訓練で身体的負担が懸念されるが、訓練準備や後片付けなどの支援により効率的な訓練体制を整え、負担軽減を図る。

その他の質問 ○ポスト「メルモニ」の進捗状況 ○鈴鹿市の空き家対策 ○鈴鹿の歴史文化事業への支援



各委員会での主な議案審査状況、討論、代表質問および一般質問の記事に掲載しているQRコードをスマートフォンで読み取っていただくと、動画(YouTube)をご覧いただけます。



# 常任委員会の所管事務調査事項が決定

総務・文教環境・地域福祉・産業建設の4つの常任委員会では、それぞれの所管事務について調査研究を行っています。調査研究した成果は、次年度の予算編成や政策決定の参考として市政に反映されるよう、例年1月中旬ごろに市長に対し提言します。

なお、令和5年度に各常任委員会において調査する事項は、次のとおり決定しました。

## 総務委員会

### 1 有事に備えた災害対応について

頻発・激甚化する災害に備え、自助・共助・公助の連携により災害対応能力の強化を図るとともに、多様化する市民のニーズに対応していくために、有事に備えた災害対応について調査研究を行います。

### 2 投票率の向上について

近年低迷する投票率を向上させるため、移動式期日前投票所の導入や、幼少期からの継続的な主権者教育の実施など、投票率向上に向けた取り組みについて調査研究を行います。



## 文教環境委員会

### 1 学力向上について

小中学生の学力向上を図るため、他自治体が行っている学校外教育機関の活用などの先進事例について調査研究を行います。

### 2 文化施設、スポーツ施設の利用率向上について

公共施設への指定管理者制度の導入や、公共施設予約システムの活用による公共施設の利用率の増加、利便性の向上を図ることなどについて調査研究を行います。



# 地域福祉委員会

## 1 子どもの権利条例について

子どもの権利を保障し、未来を担う子どもたちの健やかな成長のために、本市にも子どもの権利に関する条例の策定が必要であると考えことから、子ども権利条例について調査研究を行います。

## 2 書かない窓口について

来庁者から聞き取りを行いながら、職員が申請書などの作成を支援することにより、窓口での手続きにかかる時間の短縮と申請書への記入の負担を軽減させることに伴い、来庁者と職員の双方にとって負担の少ない快適な窓口を実現するため、書かない窓口について調査研究を行います。

## 3 結婚新生活支援について

新婚世帯に対して結婚に伴う新生活の初期費用を支援することにより、結婚に伴う経済的負担を軽減し、結婚、出産、子育てしやすい環境を整備するため、結婚新生活支援について調査研究を行います。

## 4 重層的支援体制について

市全体の支援機関・地域の関係者が、市民からの相談を断らず、受け止め、つながり続ける支援体制を構築することが必要であることから、令和4年度に市に対して提言を行いました。令和6年4月の事業開始に向けて進捗状況を確認するため、重層的支援体制について引き続き調査研究を行います。

## 5 所管の施設調査について

公立・私立の保育園・幼稚園について、外国籍や障がいを持つ園児などの在籍数、通訳者や看護師の配置の有無、土曜保育の実施状況、今後の施設整備などについて調査するとともに、公民館の現状把握や、それぞれの公共施設の現地視察など、所管の施設について調査研究を行います。



# 産業建設委員会

## 1 道の駅について

本市には道の駅がないことから、地域振興・産業振興・観光振興につなげられるような道の駅の建設を視野に入れ、建設に伴う各種手続きや、他自治体の先進的な道の駅について調査研究を行います。

## 2 インバウンドを含めた観光誘客について

国際交流都市として観光産業を強化するとともに、F1日本グランプリや8時間耐久ロードレースなどのモータースポーツイベント開催時以外にも外国人を含めた観光誘客を見込めるような施策について調査研究を行います。

## 3 ふるさと納税の取り組みについて

ふるさと納税の返礼品を通じて、本市の魅力を全国に発信するとともに、本市の特産品について地産地消だけにとどめることなく販路拡大につなげられるような地域経済の活性化を図る取り組みについて調査研究を行います。

## 4 コミュニティバス(C-BUS)について

本市がコミュニティバス(C-BUS)の運行を開始してから20年以上が経過し、公共交通を取り巻く環境が大きく変化してきていることから、コミュニティバス(C-BUS)の現状や今後の在り方について調査研究を行います。



## 各常任委員会例月開催日のお知らせ

総務委員会

第1火曜日

文教環境委員会

第1水曜日

地域福祉委員会

第1月曜日

産業建設委員会

第1水曜日

(注) 各常任委員会の例月開催日は変更になる場合がありますので、最新の情報は議会事務局にお問い合わせください。

# 議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

## 議会にお越しく下さい

### ●傍聴の手続き方法

本会議や委員会などの傍聴をするときは、市役所本館14階の議会事務局で傍聴券を受け取ってから入室してください。本会議の傍聴受け付けは先着順です。本会議以外の傍聴受け付けは、開会30分前から開始し、同10分前に締め切ります(締め切り時点で傍聴希望者が定員を超えた場合は、抽選により決定します。)

なお、会議の開催予定は、市議会ホームページや市役所掲示板などでお知らせします。



本会議場：定員53名



委員会室：定員10名

### ●音声を聞き取りにくい方に

議場の傍聴席にて音声を聞き取りにくい方には、ヘッドホンを出していますので、議会事務局へお申し付けください。



また、手話通訳や要約筆記をご希望の方は、事前に議会事務局へお申し付けください。

## 議会に来られなくても…

### ●本会議をライブ中継しています

本会議の様子をケーブルテレビ(CNS・112ch)とYouTube(市議会ホームページからご覧いただけます。)でライブ中継しています。放送時間は午前10時(開会時間)から会議の終了までです。

### ●本会議の録画映像を配信しています

ライブ中継した本会議の映像をYouTube(市議会ホームページからご覧いただけます。)で録画配信しています。※録画映像がアップロードされるまでに数日を要します。

### ●委員会などの録画映像を配信しています

委員会などの映像をYouTube(市議会ホームページからご覧いただけます。)で録画配信しています。※録画映像がアップロードされるまでに数日を要します。

### ●会議録でもっと詳しく

会議の詳しい内容については、市役所本館14階の議会図書室と4階の情報公開コーナーで会議録の閲覧ができます。また、本会議の会議録は、市立図書館や各地区市民センターなどでも閲覧できます。なお、会議録は市議会ホームページで公開しています。

※6月定例議会の会議録は、8月下旬に配置予定です。

## 8・9月の会議日程

(注)日程は変更になる場合があります。

8月	21日	月	10:00	議会運営委員会	9月	14日	木	10:00	総務委員会(分科会)
	28日	月	10:00	本会議(提案説明)					地域福祉委員会(分科会)
	29日	火	14:00	議会運営委員会		15日	金	10:00	文教環境委員会(分科会)※
9月	5日	火	10:00	本会議(質疑・一般質問)					産業建設委員会(分科会)※
	6日	水	10:00	本会議(一般質問)		19日	火	10:00	総務委員会(分科会)※
	7日	木	10:00	本会議(一般質問)					地域福祉委員会(分科会)※
				本会議(一般質問)		20日	水	10:00	常任委員会予備日※
	8日	金	10:00	議会運営委員会(本会議終了後)					予算決算委員会
				各派代表者会議(議会運営委員会終了後)		21日	木	10:00	各派代表者会議(予算決算委員会終了後)
				各派代表者会議(議会運営委員会終了後)					広報広聴会議(各派代表者会議終了後)
	11日	月	10:00	本会議(一般質問・追加議案等・委員会付託)		25日	月	10:00	議会運営委員会
			予算決算委員会(本会議終了後)					本会議(委員長報告・討論・採決)	
13日	水	10:00	文教環境委員会(分科会)		26日	火	10:00	全員協議会(本会議終了後)	
			産業建設委員会(分科会)					議会だより編集会議(全員協議会終了後)	

※常任委員会の進行状況により、開催しない場合があります。

### 皆さまのご意見などをお聴かせください

市議会や市議会だよりに対する皆さまのご意見・ご提案・ご要望をお聴かせください。今後の議会運営の参考にさせていただきます。

宛先は

### 鈴鹿市議会事務局

〒513-8701 鈴鹿市神戸一丁目18番18号  
TEL: 059-382-7600 FAX: 059-382-4876  
E-mail: giji@city.suzuka.lg.jp